

次世代の子どもたちへ故郷「錦江町」を引き継ぐこと。それは私たちの責務であり使命

「まちづくり」とは、そこに住む住民が自分たちの手で築き上げるもので、行政主導では実現しません。しかし、誰もが住みやすい、住みたいと思える町を実現するために必要な財源には限りがあります。あれもこれも欲しいという「要望」ではなく、情報を共有し判断材料を得たうえでの「選択」こそが求められています。まちの将来を左右する選択は、私たち一人ひとりの責任なのです。

新田 敏郎

錦江町長



過疎地課題として頻繁に叫ばれる少子高齢化や働く場の創出。しかし、単に若い人たちが企業が増えることが、町の魅力や幸福度を高めるものではないかもしれません。まちづくりの原点は住民主体。錦江町独自の価値観で住民同士が互いに支えあい、応援できる体制の構築を目指しています。

——描く錦江町の未来ビジョン——

「情熱まっすぐ」をキャッチフレーズに掲げ、子どもからお年寄りまですべての世代が幸せを感じるられる錦江町実現を訴えてきました。36年務めた役場を離れ、時間をかけて地域を回り、対話を繰り返したからこそ多くの課題と同時にヒントも見えました。さらにその声は旧町や地域単位で大きく異なっています。一人ひとりの声を町政に反映させるため私自身が先頭に立ち、決断力と実行力、スピード感を持って職員と一丸で町政運営を進めていきます。

失敗を恐れず官民が一体となって知恵を絞りながら、情熱まっすぐに挑戦を続けます。寄せられる声を町の魅力へと進化させ、小さな幸せを積み重ねることで、住みたいと思える錦江町とともに築きましょう。

いつまでも住み続けたいと思える錦江町へ。
「情熱まっすぐ」に挑戦する新リーダーが描く
住民主体のまちづくりと未来への展望——。

interview 「揺るぎない覚悟で先頭に立ち、熱い思いで挑戦を続ける」

12月20日、民意を託され錦江町長に就任した新田敏郎町長。
「信頼でつながり、人に投資するまち」をビジョンに掲げ未来を描く、
新たに町政を任された新リーダーに錦江町の可能性と展望を聞きます。

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて、昨年11月28日に執行されました錦江町長選挙におきましては、多くの町民の皆さまから力強い支援を受け、ここに町政を担わせていただくことになりました。あらためて一票一票の重みと責務を感じ、身を引き締めつつ錦江町発展に向けて取り組んでいきます。

——立候補のきっかけと決断——

昨年3月、36年務めた役場を退職し、退路を断って町長選挙に臨みました。歴代町長の下、町職員として地方創生に取り組むなかで感じたことは、まちを動かす原動力はやはり「人」であり、その鍵は人材育成にあると痛感しました。時間はかかっ

てもいい、「人こそが町の宝」であり、錦江町の未来を描くためには人への投資が不可欠だと考えています。

——対話から見た課題と可能性——

昨年4月から約半年かけて町内をくまなく回りミニ集会を開催し、延べ4千人以上と対話を繰り返ししました。そこであらためて地域ごとに抱える課題と、同時に町が持つ魅力や



初登庁では100人を超える職員や町民らに迎えられ、就任式では「ともに汗を流し熱意をもって何事にも挑戦してほしい」と職員に伝えました。対話で得られた声と、数字や根拠に裏付けられたデータを政策に反映していると話します。

——合併から16年を振り返る——

平成の大合併で誕生した錦江町も16年が経過しました。この間、人口だけを見ると3千人以上も減少。超少子高齢化は急激に進み、医療や介護、地域経済や交通体系など課題は山積。加速する人口減や高齢化は、まさに日本の縮図でもあり、前例のない課題解決に向けた錦江町の挑戦は日本の指標とも言えるでしょう。

PROFILE

新田 敏郎 (しんでん・としろう)

1965年生まれ。南大隅高校卒業後、旧大根占町役場へ入庁。合併後は総務課長や政策企画課長を務め令和3年3月に早期退職し、退路を断って町長選への出馬を表明。4月からミニ集会を町内各地で開催し延べ4千人を超える町民と対話。「情熱まっすぐ」をキャッチフレーズに掲げ「人への投資」と5つの元気を公約で訴え昨年11月28日に行われた錦江町長選挙で初当選した。錦江町馬場在住の56歳。

信頼でつながり、
小さな幸せを積み重ね、
人に投資するまち

可能性にも気づかせてもらえました。対話を続けるなかで最も多く聞かれた声は高齢者の移動手段と、一次産業振興に向けた働き手の確保。この二つは直面する喫緊の課題として早急に対応したいと思っています。まずは高齢者の移動手段確保として乗り合いタクシーの導入、担い手対策としては季節ごとの労働需要に応じた職員派遣を行う特定地域づくり事業協同組合の整備を急ぎます。

私が目指すまちの姿は、「人がつながり、小さな幸せを積み重ね、人に投資するまち」。まちづくりとは行政主導で実現するものではありません。いつまでも住み続けたいと思える錦江町を作り上げるのは、そこに住む私たち住民自身なのです。